

# 2022年3月期第3四半期 決算説明資料

2022年2月7日  
神奈川中央交通株式会社

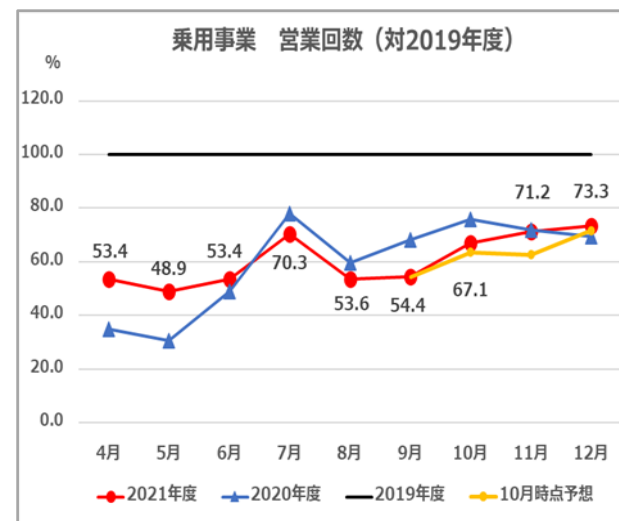
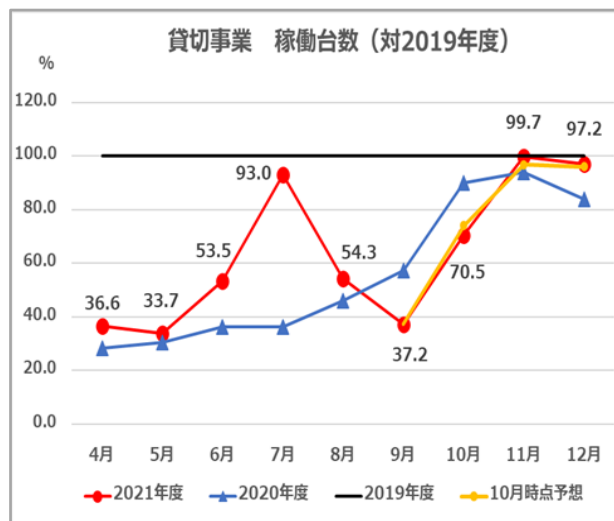
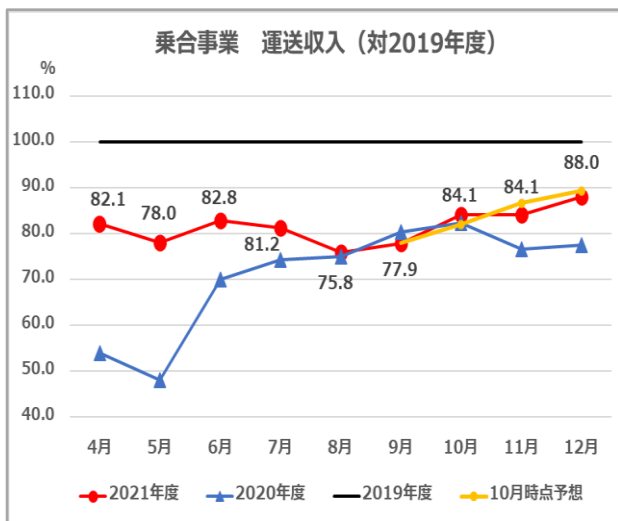


## 2021年12月末時点での状況

- 上期は、事業エリアにおける緊急事態宣言の発出や、まん延防止等重点措置の適用により、人の移動や経済活動が制限される厳しい状況で推移
- 第3四半期は、いわゆる「第5波」が収束し、緊急事態宣言が9月末に解除されたことにより、旅客需要の回復が進展した

乗合事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上期は、緊急事態宣言の発出・解除に伴い、旅客需要は一進一退で推移</li> <li>■ 「第5波」の収束などにより、旅客需要は緩やかに改善し、運送収入は感染症拡大前の9割程度まで回復</li> </ul>
貸切事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 夏季に、東京オリンピック・パラリンピック関係者の輸送を実施</li> <li>■ 学生団体の需要回復などにより、稼働台数は感染症拡大前と同水準まで回復</li> </ul>
乗用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日中の需要について一部回復が見られるものの、依然として夜間の需要に回復が見られず、営業回数は感染症拡大前の7割程度に留まる</li> </ul>

※ 感染症拡大前：2019年度実績



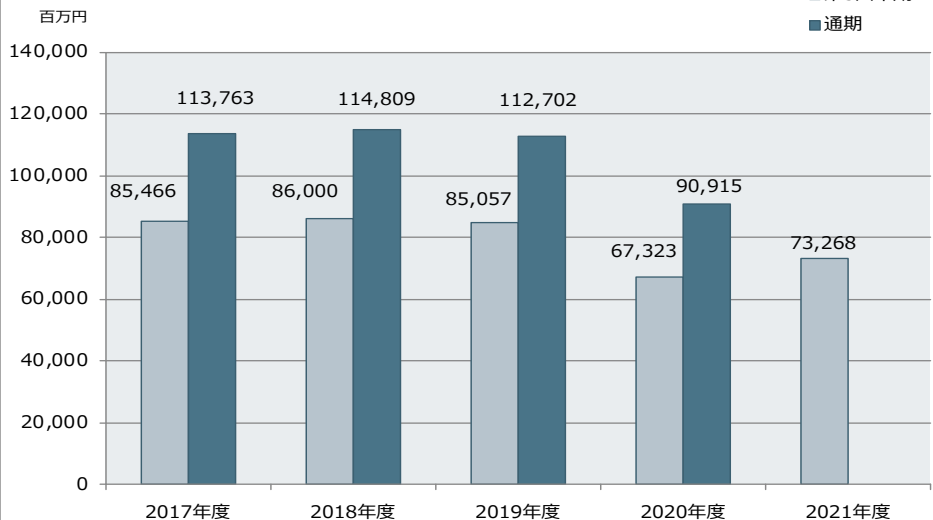
単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減
売上高	73,268	67,323	5,945 (8.8%)
一般旅客自動車運送事業	34,384	30,836	3,548
不動産事業	5,779	4,386	1,392
自動車販売事業	19,555	19,159	395
その他の事業	18,995	18,923	71
調整額	△ 5,446	△ 5,983	537
営業利益	1,518	△ 3,936	5,454 (-)
一般旅客自動車運送事業	△ 2,070	△ 6,344	4,274
不動産事業	2,326	2,027	298
自動車販売事業	826	369	457
その他の事業	553	255	297
調整額	△ 117	△ 243	126
経常利益	2,918	△ 3,356	6,274 (-)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,951	△ 5,737	7,689 (-)
1株当たり四半期純利益	159.03円	△ 467.55円	626.58円
減価償却費	4,956	5,367	△ 411
EBITDA(営業利益+減価償却費)	6,475	1,431	5,043

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	摘要
営業外収益	1,706	914	791	助成金収入+775 ※1
営業外費用	305	334	△ 28	社債発行費償却△46 支払利息+19
特別利益	476	490	△ 13	助成金収入△335 ※1 固定資産売却益+308
特別損失	468	734	△ 265	臨時休業等による損失△350 ※2 固定資産除却損+134

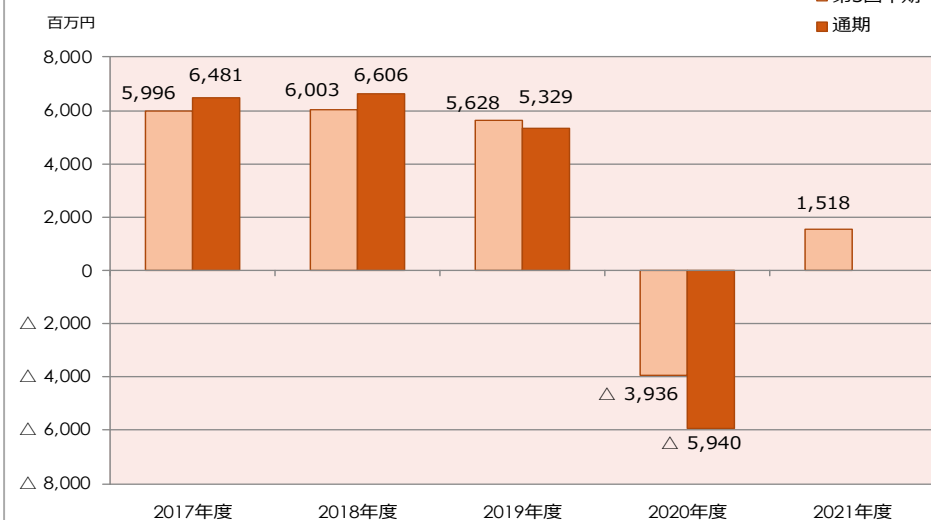
- ※1 緊急事態宣言期間における雇用調整助成金等の「助成金収入」について、前期は臨時性を鑑み特別利益に計上したものの、今期においては営業外収益に計上
- ※2 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した人件費、償却費、賃借料等の固定費について、前期は臨時性を鑑み特別損失に計上したものの、今期においては「売上原価」および「販売費及び一般管理費」に計上

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期	増減	摘要
流動資産	20,419	21,057	△ 638 (△ 3.0%)	商品及び製品△1,150
固定資産	130,390	138,000	△ 7,610 (△ 5.5%)	投資有価証券△4,783 有形固定資産△2,309
資産合計	150,809	159,058	△ 8,249 (△ 5.2%)	
流動負債	33,062	36,783	△ 3,721 (△ 10.1%)	短期借入金△2,641
固定負債	64,172	67,118	△ 2,946 (△ 4.4%)	その他固定負債△2,600(繰延税金負債、リース債務他)
負債合計	97,234	103,902	△ 6,667 (△ 6.4%)	
純資産合計	53,574	55,156	△ 1,581 (△ 2.9%)	その他有価証券評価差額金△3,310 利益剰余金+1,441
負債純資産合計	150,809	159,058	△ 8,249 (△ 5.2%)	
1株当たり純資産額	4,006.42円	4,140.66円	△ 134.24円	
自己資本比率	32.6%	31.9%	0.7P	
有利子負債残高 (借入金及び社債)	53,360	56,208	△ 2,847	

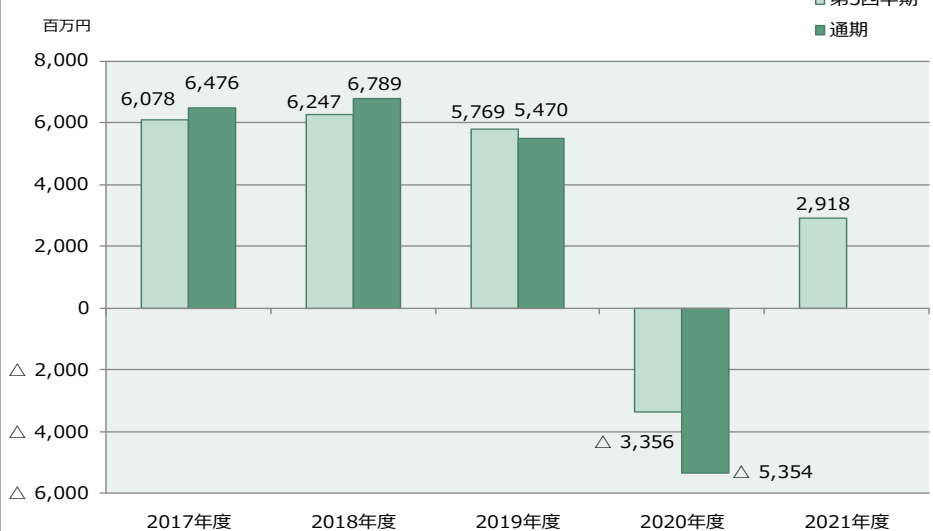
## 売上高



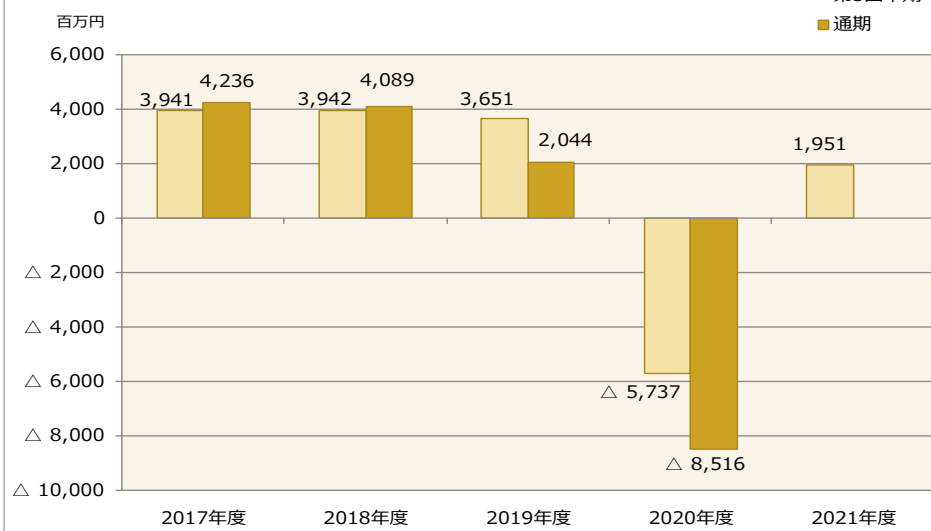
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する四半期純利益



神奈川中央交通グループ	子会社19社、関連会社3社
うち 連結子会社	19社
持分法適用会社	2社（大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス）

## 〈主な連結会社〉

### ■ 一般旅客自動車運送事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

### ■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

### ■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

### ■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、  
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	34,384	30,836	3,548 (11.5%)	乗合事業+3,275 貸切事業+152 乗用事業+120
営業利益	△ 2,070	△ 6,344	4,274 (-)	乗合事業+3,735 貸切事業+76 乗用事業+463

## 【対前年】

前年の緊急事態宣言（4月～5月）の反動もあり、旅客需要は改善し増収増益

## ※参考 乗合事業輸送人員

単位：百万人	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減率
定期外	100	91	9.5%
定期	42	40	4.7%
合計	142	132	8.0%



単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	5,779	4,386	1,392 (31.7%)	分譲事業+1,454 賃貸事業△62
営業利益	2,326	2,027	298 (14.7%)	分譲事業+279 賃貸事業+19

## 【対前年】

分譲事業は、マンション分譲および戸建分譲の販売戸数増加により増収増益

賃貸事業は、前期開業物件が通期寄与したものの、空室や賃料減等により減収、修繕費の減少などにより増益

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	19,555	19,159	395 (2.1%)	商用車販売事業△376 輸入車販売事業+771
営業利益	826	369	457 (123.8%)	商用車販売事業+122 輸入車販売事業+334

## 【対前年】

商用車販売事業は、トラックやバスの販売台数が減少したことにより減収、自動車整備事業が堅調に推移し増益  
 輸入車販売事業は、新車販売において高価格帯を中心に販売台数が増加、中古車販売も好調に推移し増収増益

## ※参考 新車販売台数

単位：台	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減
トラック	1,226	1,391	△ 165
バス	30	47	△ 17
輸入車	374	357	17

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	18,995	18,923	71 (0.4%)	レジャー・スポーツ事業+394 ビル管理事業+273 飲食・娯楽事業△416
営業利益	553	255	297 (116.4%)	レジャー・スポーツ事業+319 飲食・娯楽事業+97

## 【対前年】

レジャー・スポーツ事業は、前年度の緊急事態宣言期間中に施設休業していた反動増もあり増収増益

飲食・娯楽事業はTSUTAYAなど不採算店舗の閉店により減収、前年の緊急事態宣言（4月～5月）の反動もあり増益

2022年3月期の業績予想  
(2022年2月7日公表値)

単位：百万円	2022年3月期 業績予想 (2022年2月公表値)	2021年3月期	増減	2022年3月期 業績予想 (2021年10月公表値)	増減
売上高	97,300	90,915	6,384 (7.0%)	98,000	△ 700 (△ 0.7%)
一般旅客自動車運送事業	45,910	40,379	5,530	46,440	△ 530
不動産事業	7,720	6,487	1,232	7,730	△ 10
自動車販売事業	25,680	26,120	△ 440	25,600	80
その他の事業	25,200	25,773	△ 573	25,350	△ 150
調整額	△ 7,210	△ 7,846	636	△ 7,120	△ 90
営業利益	1,190	△ 5,940	7,130 (-)	1,440	△ 250 (△ 17.4%)
一般旅客自動車運送事業	△ 2,910	△ 9,138	6,228	△ 2,640	△ 270
不動産事業	2,980	2,713	266	2,950	30
自動車販売事業	780	501	278	560	220
その他の事業	480	269	210	700	△ 220
調整額	△ 140	△ 286	146	△ 130	△ 10
経常利益	2,620	△ 5,354	7,974 (-)	2,770	△ 150 (△ 5.4%)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,080	△ 8,516	10,596 (-)	1,860	220 (11.8%)
1株当たり当期純利益	169.49円	△ 693.97円	863.46円	151.57円	17.92円
減価償却費	6,630	7,070	△ 440		
資本的支出	6,690	7,698	△ 1,008		
EBITDA(営業利益+減価償却費)	7,820	1,129	6,690		

単位：百万円	2022年3月期 業績予想 (2022年2月公表値)	2021年3月期	増減	摘要	2022年3月期 業績予想 (2021年10月公表値)	増減
売上高	45,910	40,379	5,530 (13.7%)	乗合事業+4,534 貸切事業+361 乗用事業+641	46,440	△ 530 (△ 1.1%)
営業利益	△ 2,910	△ 9,138	6,228 (-)	乗合事業+5,311 貸切事業+160 乗用事業+748	△ 2,640	△ 270 (-)
減価償却費	4,550	5,103	△ 553		4,560	△ 10
資本的支出	1,790	3,000	△ 1,210		2,880	△ 1,090

### 【対前年】

新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用客数が持ち直し、増収増益

### 【対予想(2021年10月公表値)】

いわゆる「第6波」の影響を勘案したことなどにより減収減益

単位：百万円	2022年3月期 業績予想 (2022年2月公表値)	2021年3月期	増減	摘要	2022年3月期 業績予想 (2021年10月公表値)	増減
売上高	7,720	6,487	1,232 (19.0%)	分譲事業+1,304 賃貸事業△66	7,730	△ 10 (△ 0.1%)
営業利益	2,980	2,713	266 (9.8%)	分譲事業+298 賃貸事業△26	2,950	30 (1.0%)
減価償却費	950	989	△ 39		960	△ 10
資本的支出	2,430	365	2,064		2,100	330

### 【対前年】

マンション分譲及び戸建分譲の販売戸数増加により増収増益

### 【対予想(2021年10月公表値)】

賃貸事業において減収、修繕費等の経費削減により増益

単位：百万円	2022年3月期 業績予想 (2022年2月公表値)	2021年3月期	増減	摘要	2022年3月期 業績予想 (2021年10月公表値)	増減
売上高	25,680	26,120	△ 440 (△ 1.7%)	商用車販売事業△1,213 輸入車販売事業+772	25,600	80 (0.3%)
営業利益	780	501	278 (55.6%)	輸入車販売事業+286	560	220 (39.3%)
減価償却費	470	373	96		480	△ 10
資本的支出	460	3,745	△ 3,285		370	90

## 【対前年】

商用車販売事業は、トラックやバスの販売台数の減少により減収、自動車整備事業が堅調に推移し増益  
 輸入車販売事業は、新車及び中古車の販売台数が増加し増収増益

## 【対予想(2021年10月公表値)】

商用車販売事業は、トラックやバスの販売台数の減少により減収、自動車整備事業が堅調に推移し増益  
 輸入車販売事業は、高価格帯の車両が順調に推移し増収増益



単位：百万円	2022年3月期 業績予想 (2022年2月公表値)	2021年3月期	増減	摘要	2022年3月期 業績予想 (2021年10月公表値)	増減
売上高	25,200	25,773	△ 573 (△ 2.2%)	流通事業△595 商用車架装事業△300 レジャー・スポーツ事業+482	25,350	△ 150 (△ 0.6%)
営業利益	480	269	210 (77.8%)	レジャー・スポーツ事業+421 商用車架装事業△150	700	△ 220 (△ 31.4%)
減価償却費	640	604	35		610	30
資本的支出	2,100	832	1,267		5,630	△ 3,530

## 【対前年】

流通事業は、収益認識会計基準の適用により減収

商用車架装事業は、トラックメーカーの減産に伴い受注台数が減少し、減収減益

レジャー・スポーツ事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用客数が持ち直し増収増益

## 【対予想(2021年10月公表値)】

利用客数の回復ペースを見直したことなどにより、レジャー・スポーツ事業を中心に減収減益

商用車架装事業は、トラックメーカーの減産に伴い受注台数が減少し、減収減益

単位：百万円	2022年3月期		増減	摘要	2022年3月期	
	業績予想 (2022年2月公表値)	2021年3月期			業績予想 (2021年10月公表値)	増減
売上高	45,200	40,085	5,114 (12.8%)		45,900	△ 700 (△ 1.5%)
営業利益	160	△ 5,454	5,614 (-)		570	△ 410 (△ 71.9%)
経常利益	1,010	△ 5,853	6,863 (-)		1,390	△ 380 (△ 27.3%)
特別利益	630	217	412 (+)		180	450 (+)
特別損失	810	971	△ 161 (△ 16.6%)		850	△ 40 (△ 4.7%)
当期純利益	960	△ 7,428	8,388 (-)		1,010	△ 50 (△ 5.0%)
1株当たり 当期純利益	78.23円	△ 605.29円	683.52円		82.30円	△ 4.07円

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〈お問い合わせ先〉

神奈川中央交通株式会社 総務部 TEL : 0463-22-8800